

**速報版**

**杉並区区政モニターアンケート集計結果**

この集計結果は、平成30年2月15日時点の速報値を取りまとめたものです。今後、調査結果を精査していく上で数値等が変更になる場合があります。

テーマ 障害を理由とする差別の解消について  
実施日 平成30年1月29日～2月12日  
回答者 154人/200人 (回答率 77.0%)

◆基本事項についてお聞きします。

問1 あなたの年齢をお答えください。(〇は1つだけ)

- ① 10代 1人 ② 20代 3人 ③ 30代 31人 ④ 40代 38人  
⑤ 50代 32人 ⑥ 60代 29人 ⑦ 70歳以上 20人

問2 あなたのご職業は、主に次のどれにあたりますか。(〇は1つだけ)

- ① 自営業・事業主 16人 ② 自由業 7人 ③ 管理職 19人  
④ 事務職・技術職 40人 ⑤ 労務職・サービス職 6人  
⑥ 主婦(夫) 31人 ⑦ 学生 2人 ⑧ 無職 17人  
⑨ その他 16人 (具体的に )

◆障害に関することについてお聞きします。

問3 仕事上又は日常生活などにおいて、あなたの身近に障害のある人がいますか。または、これまでにいたことがありましたか。(〇はいくつでも)

- ① 自分自身または家族など一緒に生活している(いた) 31人  
② 学校にいる(いた) 40人  
③ 職場で一緒に仕事をしている(いた) 45人  
④ 仕事関係(③以外)にいる(いた) 39人  
⑤ 隣近所にいる(いた) 33人  
⑥ 地域の防災訓練等で関わりがある(あった) 3人  
⑦ 地域の活動の中(⑥以外)で関わりがある(あった) 13人  
⑧ サークルや団体と一緒に活動している(いた) 15人  
⑨ 一緒に遊んだり、個人的に親しい付き合いをしている(いた) 24人  
⑩ 身近にいたことはない 26人  
⑪ わからない 0人  
⑫ その他 12人 (具体的に )

## 問4 あなたは障害のある人の手助けをしたことがありますか。(○は1つだけ)

- ① ある ⇒ 問5、6へ 121人      ② ない ⇒ 問7へ 33人

(問4で「① ある」と回答した方)

## 問5 あなたはどのような気持ちから障害のある人の手助けをしましたか。(気持ちに近いものを選んでください。○はいくつでも)

- ① 困っているときはお互い様という気持ちから 81人  
 ② 自分の仕事に関連しているから 32人  
 ③ 身内などに障害のある人がいて、その方の変さを知っているから 29人  
 ④ 近所付き合い・親戚付き合いなどから 12人  
 ⑤ 将来、自分も障害者になるかもしれないから 17人  
 ⑥ 障害のある人を手助けするのは当たり前のことだと思うから 67人  
 ⑦ 障害のある人への手助けを求めるキャンペーンなどを見たから 2人  
 ⑧ 特に理由はないが、何となく 19人  
 ⑨ わからない 1人  
 ⑩ その他 6人 (具体的に )

(問4で「① ある」と回答した方)

## 問6 手助けをした方は、どんな障害の方ですか。(○はいくつでも)

- ① 身体障害 90人    ② 聴覚障害 27人      ③ 視覚障害 56人  
 ④ 知的障害 38人    ⑤ 精神障害 29人      ⑥ 発達障害 27人  
 ⑦ 高次脳機能障害 11人    ⑧ その他 1人

(問4で「② ない」と回答した方)

## 問7 障害のある人の手助けをしなかったのはどうしてでしょうか。(気持ちに近いものを選んでください。○はいくつでも)

- ① たまたま機会がなかったから 25人  
 ② どのように接したらよいかわからなかったから 8人  
 ③ 自分が何をすればよいかわからなかったから 12人  
 ④ お節介になるような気がしたから 9人  
 ⑤ 専門の人や関係者に任せた方がよいと思ったから 5人  
 ⑥ 自分にとって負担になるような気がしたから 0人  
 ⑦ 怖いから 1人  
 ⑧ 特に理由はない 0人  
 ⑨ わからない 0人  
 ⑩ その他 1人 (具体的に )

**問8 あなたは、世の中には障害がある人に対する障害を理由とする差別や偏見があると思いますか。(○は1つだけ)**

- |            |         |            |               |
|------------|---------|------------|---------------|
| ① あると思う    | → 問9 へ  | <u>91人</u> |               |
| ② 少しはあると思う | → 問9 へ  | <u>44人</u> |               |
| ③ ないと思う    | → 問10 へ | <u>7人</u>  |               |
| ④ わからない    | → 問10 へ | <u>11人</u> | 無回答 <u>1人</u> |

(問8で「① あると思う」又は「② 少しはあると思う」と回答した方)

**問9 あなたは、具体的にどのような場面で、又は事由により差別や偏見があると感じましたか。また、差別や偏見があるのはなぜだと思えますか。ご自由にお書きください。 自由意見 128人**

**主な意見 (抜粋)**

- ・生活のいたる場面で差別はあると思う。障害のある人に接する機会も少ないため、そういった方がどういったサポートを必要としているか、どう接すればいい良いか分からないことが多く、こうだろう、という思い込みでしか判断できないのが問題だと思う。
- ・目に見える障害ではなく、目に見えない障害に対し、差別をしてしまう人が少なからずいると思う。目に見える障害よりも理解が低い事が多い。
- ・発達障害などの内面的な障害などはわかりづらいので、支援が入りづらいと思う。
- ・自分が幼児の子育て中ということもあり、発達障害について身近に感じます。年配の方はやはり、しっかり子育てしていない、しつけがなっていないと言う人が多いように思う。
- ・車椅子等を利用する時に、迷惑そうな行動をする人をたまに見かけた。
- ・公共交通機関での乗降の手間取りに嫌な顔をする。
- ・職を得る場合に、差別があると思えます。普通の人に比べ、能力・体力が劣るから。
- ・就職採用の低さ、入所施設での虐待行為など。
- ・新聞、ニュースを見た時に感じる。せわしない経済活動を営む社会では、時間とタスクを管理するあまり、個人を敬うことをおろそかにしてしまうと思う。
- ・一般的に、障害のない人は障害のある人に気持ちや接し方がわからないから遠ざかる傾向がある。その気持ちが差別とか偏見とか言われているのではないかと。
- ・自分自身でも、例えば独り言をブツブツ言いながら道を歩いている人が、障害者かどうか判断がつかないので、避けてしまったりする。差別や偏見であるとは理解できるが、怖さが先に立ってしまう。
- ・手助けしてあげたのに対して、当然だという顔で、お礼のひと言もない時は、もっと謙虚に暮らせばいいのに、と思ってしまう。
- ・障害のある人を障害者と決めつけているのは周りの人達だと思う。
- ・このようなアンケートを拝見するときに差別を感じる。
- ・障害をもつ方それぞれがどういう状態なのかを正しく知り、理解できないから差別や偏見につながると思う。
- ・差別や偏見がある理由はいろいろあると思いますが、一つは、障害者の生活の場が小さい頃から隔離されていて、健常者が接する機会がなく、多様性を認める心が育たないことだと思う。
- ・世の中が健常者の生活基準でまわっているから。
- ・差別や偏見があるのは、優劣で見る視点があるからだと思う。生活のなかでの障害が特別なことの様にとらえられている気がして、それが差別や偏見へと繋がっているのではないだろうか。

問 10 障害に関する次の法律や用語について、どの程度ご存知でしょうか。それぞれ当てはまるもの1つに○をつけてください。

	説明できるくらい知っている	少しは知っている	聞いたことはあるがあまり知らない	知らない
① 障害者権利条約 ▶すべての障害者が人権や基本的自由を完全に享有するための措置について定めた国際条約。日本での正式名称は「障害者の権利に関する条約」	<u>5人</u>	<u>45人</u>	<u>49人</u>	<u>55人</u>
② 障害者差別解消法 ▶正式名称は「障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律」。障害者基本法の基本理念に沿って、障害を理由とする差別を解消するための措置などについて定めた法律	<u>8人</u>	<u>45人</u>	<u>44人</u>	<u>56人</u> 無回答 <u>1人</u>
③ 障害者虐待防止法 ▶正式名称は「障害者虐待の防止、障害者の養護者に対する支援等に関する法律」。家庭・福祉施設・職場等での障害者に対する虐待の防止を目的とする法律	<u>8人</u>	<u>51人</u>	<u>45人</u>	<u>49人</u> 無回答 <u>1人</u>
④ 障害者総合支援法 ▶正式名称は「障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律」。障害者・障害児が基本的人権を享有する個人として尊厳ある生活を営めるよう、必要な障害福祉サービスの給付などの支援を総合的に行うことを定めた法律	<u>8人</u>	<u>44人</u>	<u>33人</u>	<u>68人</u> 無回答 <u>1人</u>
⑤ 発達障害者支援法 ▶自閉症、アスペルガー症候群、その他の広汎性発達障害や、学習障害(LD)、注意欠陥・多動性障害(ADHD)などの低年齢に発現する発達障害に対して、早期発見と早期療育など国・自治体の責務を規定した法律	<u>6人</u>	<u>43人</u>	<u>43人</u>	<u>62人</u>
⑥ 児童福祉法 ▶児童の健全な育成、児童の福祉の保障とその積極的増進を基本精神とする総合的法律で、自治体に障害児福祉計画の策定を義務付けている。	<u>18人</u>	<u>75人</u>	<u>49人</u>	<u>12人</u>
⑦ 障害者雇用促進法 ▶正式名称は「障害者の雇用の促進等に関する法律」。一定規模以上の事業主に対して、障害者雇用率以上の障害者の雇用を義務付けている法律	<u>31人</u>	<u>77人</u>	<u>34人</u>	<u>12人</u>

	説明できるくらい知っている	少しは知っている	聞いたことはあるがあまり知らない	知らない
⑧ 合理的配慮 ▶障害のある人が日常生活や社会生活を送る上で妨げとなる社会的障壁(社会における制度・慣行・観念等)を取り除くため、状況に応じて、また、負担にならない範囲で行われる配慮	<u>13人</u>	<u>43人</u>	<u>41人</u>	<u>57人</u>
⑨ 共生社会 ▶障害の有無によって分け隔てられることなく、誰もが相互に人格と個性を尊重し支え合い、人々の多様な在り方を相互に認め合える全員参加型の社会	<u>18人</u>	<u>61人</u>	<u>43人</u>	<u>32人</u>
⑩ 社会モデル ▶障害者が味わう社会的不利は社会の問題だとする考え方。障害者とは、社会の障壁によって能力を発揮する機会を奪われた人々と考えるもの	<u>9人</u>	<u>40人</u>	<u>42人</u>	<u>63人</u>

問 11 障害理解を深めるための次の普及啓発の取組や障害者のためのマークについての程度ご存知でしょうか。それぞれ当てはまるもの1つに○をつけてください。

	説明できるくらい知っている	少しは知っている	聞いたことはあるがあまり知らない	知らない
① 障害者週間 ▶広く障害者の福祉についての関心と理解を深め、障害者があらゆる分野の活動に積極的に参加する意欲を高めることを目的として設定された毎年12月3日から9日までの1週間。この期間に、様々な意識啓発に係る取組が催される。	<u>7人</u>	<u>49人</u>	<u>39人</u>	<u>59人</u>
② 心のバリアフリー ▶障害者等が安心して日常生活や社会生活を送るには、施設整備面だけでなく、差別や偏見などの心のバリアを取り除くことが必要であり、支援を必要とする人への理解を深めることで、自然に皆で支え合うことができる心のこと。	<u>14人</u>	<u>47人</u>	<u>45人</u>	<u>48人</u>
③ イエローリボン ▶人々の意識を変え、まちを変え、障害の有無にかかわらず共に暮らし、全ての人ができる社会をつくっていくことを目指すシンボルマーク	<u>7人</u>	<u>31人</u>	<u>50人</u>	<u>66人</u>

	説明できる くらい知っ ている	少しは知 っている	見たこと はあるが あまり知 らない	知らない
<p>④ ヘルプマーク</p> <p>▶義足や人工関節を使用している方、内部障害や難病の方、妊娠初期の方など、外見から分からなくても援助や配慮を必要としている方が周囲に配慮を必要としていることを知らせることで、援助を得やすくなるよう作成されたマーク。</p> 	<u>26人</u>	<u>59人</u>	<u>26人</u>	<u>43人</u>
<p>⑤ 耳マーク</p> <p>▶聞こえが不自由なことを表すマーク。聴覚障害は見た目には分かりにくいいため、このマークを相手が提示した場合にコミュニケーションの方法への配慮を呼びかけるもの。また、聞こえが不自由な方に対し、「筆談に応じる」などの援助を呼びかけるマーク。</p> 	<u>4人</u>	<u>39人</u>	<u>25人</u>	<u>86人</u>
<p>⑥ ほじょ犬マーク</p> <p>▶身体障害者補助犬同伴の啓発マーク。盲導犬、介助犬、聴導犬のことをいい、ホテルやレストランなどの民間施設でも身体障害者補助犬が同伴できるようになっている。お店の入口などでこのマークを見かけたり、補助犬を連れていての方を見かけた場合に協力を呼びかけるマーク。</p> 	<u>25人</u>	<u>59人</u>	<u>32人</u>	<u>38人</u>

問 12 杉並区の障害福祉に関わる機関などをご存知でしょうか。知っているものすべてに○をつけてください。

- ① 障害者地域相談支援センター(すまいる) 37人
- ② 障害者雇用支援事業団(ワークサポート杉並) 29人
- ③ 杉並区社会福祉協議会 75人
- ④ 杉並区成年後見センター 31人
- ⑤ こども発達センター 53人
- ⑥ 地域自立支援協議会 16人
- ⑦ 障害者福祉推進連絡協議会 15人
- ⑧ 障害者差別解消支援地域会議 3人

問 13 障害理解や対応についておたずねします。あなたは、以下の障害特性を理解し、障害に応じた対応ができますか。それぞれ当てはまるもの1つに○をつけてください。

	できる	少しはできる	あまりできない	できない
① 身体障害	<u>21人</u>	<u>89人</u>	<u>27人</u>	<u>17人</u>
② 聴覚障害	<u>18人</u>	<u>61人</u>	<u>47人</u>	<u>28人</u>
③ 視覚障害	<u>20人</u>	<u>73人</u>	<u>41人</u>	<u>20人</u>
④ 知的障害	<u>11人</u>	<u>47人</u>	<u>56人</u>	<u>40人</u>
⑤ 精神障害	<u>12人</u>	<u>33人</u>	<u>47人</u>	<u>62人</u>
⑥ 発達障害	<u>8人</u>	<u>55人</u>	<u>44人</u>	<u>47人</u>
⑦ 高次脳機能障害	<u>11人</u>	<u>20人</u>	<u>51人</u>	<u>72人</u>

問 14 あなたの障害に対するイメージを、ご自由にお書きください。

自由意見 124人

#### 主な意見 (抜粋)

- ・自分もいつ障害者になるか分からないと思うので、出来る範囲で手助けしたいと思うが、知識に欠けるためどうして良いのかがわからない。
- ・偏見を持ちたくないし、持つつもりもありませんが、理解が足りていないと思います。障害者とふれあう機会があれば、参加したいと思う。
- ・障害は自分の意思にかかわらず突然やってくるものであり、それを一生背負って生きていかねばならないことへの努力は大変な事だと思う。少しでもそういう人々の手助けになることができれば良いと思うし、皆で相互に理解し合うことにより、より明るい社会生活が送れると思う。
- ・人間は誰でも障害は持っていると思う。それが目に見えるものなのか、目に見えないのかの違いだと思う。
- ・皆何らかの“生きづらさ”を社会の中で感じている。そうすると、皆何らかの障害を持っていることになる。障害とは、単に人と違うということ。その人達を守る必要もない。特別にお金をかけてあげる必要もない。
- ・本当は、いけないのかもしれませんが、「かわいそう」と思ってしまう。だから手助けも、できるものはやってあげたいと思う。
- ・「健常者」との対比語として「障害者」と認知されている現状には違和感がある。「共生社会」のコンセプトが広がることを望んでいる。
- ・容姿がそれぞれ違うように障害も様々で、それを個性と認められれば良いと思う
- ・障害者の定義がよくわからない。手帳をお持ちの方が？病気でねたきりや高齢のため不自由な生活を余儀なくされている方々も含むのか？後者の場合ですと身の回りにも多くなる。できるだけ力になればと思っている。
- ・「本人の意志に拘わらず、通常的生活ができない」という基本概念を持っている。「助ける」というより「自助努力に力を貸す」という流れにしたい。
- ・環境を整えば「障害」でなくなることもある

問 15 2020年に東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会が開催される予定です。さまざまな国と地域から多くの障害者がパラリンピックに参加することが見込まれますが、あなたはどのような効果に最も期待をしますか。

(○は1つだけ)

- ① 障害者に対する日本社会の取組が世界に認知されること 12人
- ② パラリンピックを契機として、日本の障害者施策や取組が向上すること 47人
- ③ 障害や障害者に対する世界的な理解促進につながる事 22人
- ④ 大会に参加した障害者自身の喜びや、競技を観た障害者の自信や勇気につながる事 41人
- ⑤ 特にない 10人
- ⑥ わからない 10人
- ⑦ その他 4人(具体的に ) 無効 8人

問 16 障害による差別や偏見をなくすため、今後地域ではどのように普及啓発していくことが効果的だと思いますか (○は2つ以内)

- ① 区の広報をはじめとしたマスメディアによる啓発 39人
- ② 講演会やシンポジウムの開催による啓発 11人
- ③ 行政・企業など様々な職場での職員研修 38人
- ④ 障害のある人と交流するイベントや行事の開催 52人
- ⑤ 差別解消のキャラクターなどによる啓発キャンペーンの実施 9人
- ⑥ 学校などでの子どもの頃からの障害理解の教育 114人
- ⑦ その他 17人 (具体的に )



問 17 障害による差別や偏見をなくすためのご意見などありましたら、ご自由にお書きください。

自由意見 115人

### 主な意見 (抜粋)

- ・保育園・幼稚園の頃から、障害者と触れ合う機会を作るようにする。障害ある人、ない人ともにフェスティバルなどを作り上げていく。一緒に何かを成し遂げていく機会を増やしていく。
- ・小さい頃からインクルーシブ教育を行うことで、理解を深めることの出来る子ども達を育てることが大切。
- ・小・中・高・大学と、ボランティアで接する機会を作ること。
- ・幼い頃から一緒に育つことが大切なのではないかと思う。普通の保育園、小学校で一緒に学ぶことができれば、自然と差別や偏見はなくなるのではないかと思う。
- ・子どもの頃からの教育は勿論のこと、通常的生活場面での企業などの職員が理解を深め、職場で自然と普及するような取り組みが大事だと思う。
- ・関わることで、障害の有無に関係なくつきあえることに気付くと思う。まず全ての人に関わり合える体制が必要かと思う。
- ・意識改革以外にないだろうが、そのためにも障害者と接する機会を作ること。
- ・障害のある方と一緒に楽しめるスポーツイベントなどあれば参加したい。
- ・マスメディアによる啓発が一番だと思います。テレビ等で障害者が傷つく発言、行動が多く見受けられる。
- ・障害もすべてひとくくりにするのはどうかと思います。日本社会では、不可能なのかも知れないが、1人1人がどういうサポートを必要とし、どうすれば社会復帰、社会の一員として生活していけるのかを考えていきたい。
- ・健常者からの一方的な配慮を指導するのではなく、障害者自身もどうサポートを頼めばよいかなど、教育の場で身に付けられるとよい。
- ・今後、障害者雇用率がアップすることも知っています。もっともっと障害者には活躍して欲しい。今後、労働力人口も減ることが予想されるので、障害者の活躍は必須です。
- ・障害にある人も、世の中に積極的に参加する心がけも必要かと思われる。"
- ・障害者側からの発信が必要だと思います。できればこの様になって欲しい、という声を反映し、形にして実現出来れば一番なのでしょうが、まずはその様な声を拾い上げ、耳を傾けていくことから始まると思う。
- ・障害をお持ちの方が「どのように考え、どういう世間であってほしいのか」「周りの健常者の我々にしてほしいことやできること」を教えてほしい。
- ・配慮は必要だが、過剰ならば逆にその人のプライドを傷つけてしまう。バランスが難しい。
- ・障害者にたいしあまり障害者あつかいしないことも、大切。
- ・近所に知的障害者の人が働くお店があり、元気に道行く人への声かけなども行っている。そういった場所が増え、彼らが働く様子を広く知ってもらう事が大切だと思う。
- ・これからは、高齢化も進み、その中にも障害をもつ人も増えて来ると思う。みんなの関心が今だけでなく将来にも向かっていくことが大切だと思う。"
- ・2020年のオリンピックを契機としてまずは自分自身の理解を深めたい。
- ・障害のある人もどんどん外に出て、社会がそれを普通のことと受け入れることができるようになるといい。